

演習 - 料金計算ツールを使用してワークロードのコストを見積もる

100 XP

6 分

この演習では、料金計算ツールを使用して、Azure で基本的な Web アプリケーションを実行するコストを見積もります。

Tailwind Traders は、Azure での実行に関連するより重要なコスト要因を理解し、一般的なワークロードを Azure で実行するために毎月かかるコストを見積もろうと考えています。

Tailwind Traders の IT マネージャーは、オンプレミスの一部の老朽化したハードウェアを交換するか、それともアプリケーションを Azure に移行するかの決断を迫られています。Azure でのソリューションの継続的な月額コストがどれくらいになるかを知る必要があります。

まず、必要な Azure サービスを定義しましょう。

注意

料金計算ツールでは、情報が提供されるだけです。料金は単なる見積もりであり、選択したどのサービスについても請求されることはありません。

要件を定義する

料金計算ツールを実行する前に、まず必要な Azure サービスを把握しておく必要があります。

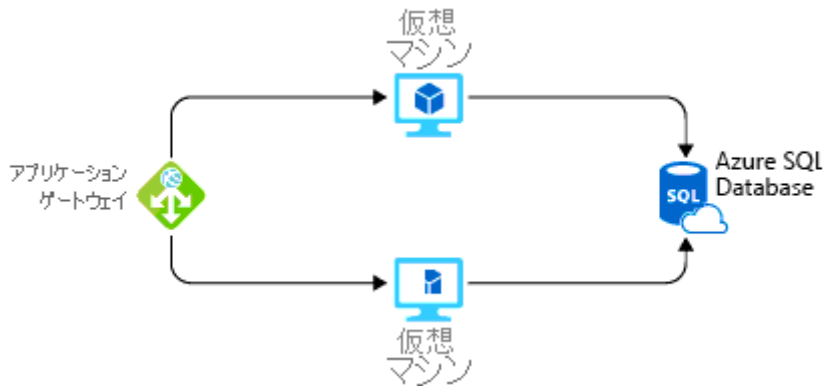
アプリケーション開発チームに会って、移行プロジェクトについて話し合います。

データセンターでは、ASP.NET Web アプリケーションが Windows 上で実行されています。その Web アプリケーションでは、製品の在庫と価格に関する情報が提供されます。中央のロードバランサーを通して、2 台の仮想マシンが接続されています。Web アプリケーションは、在庫と価格の情報が保持されている SQL Server データベースに接続されます。

チームは次のことを決定します。

- データセンターで使用する仮想マシンと同様に、Azure Virtual Machines インスタンスを使用します。
- 負荷分散には Azure Application Gateway を使用します。
- 在庫と価格の情報を保持するには、Azure SQL Database を使用します。

基本的な構成を示す図は次のようになります。



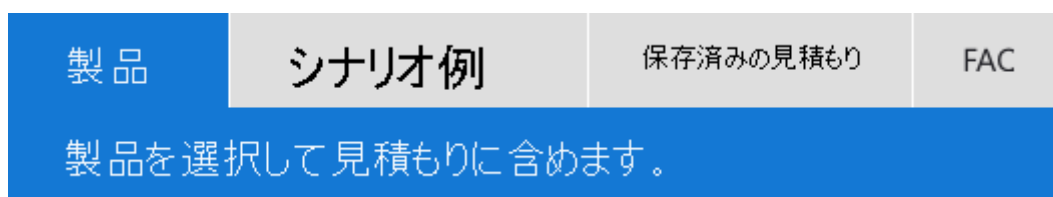
実際には、要件をさらに詳細に定義します。ただし、会議中に明らかになった基本的な事実と要件は次のとおりです。

- アプリケーションは、Tailwind Traders の小売店の従業員によって使用されます。顧客はアクセスできません。
- このアプリケーションでは、大量のコンピューティング パワーは必要ありません。
- 仮想マシンとデータベースは、常に動いています (730 時間/月)。
- ネットワークでは、1 か月あたり約 1 TB のデータが処理されます。
- データベースは、高パフォーマンス ワークロード用に構成する必要はなく、32 GB を超えるストレージは必要ありません。

料金計算ツールを調べる

最初に、料金計算ツールを簡単に見ていくことにします。

1. 料金計算ツールに移動します。
2. 次のタブに注目してください。



• 製品

ここでは、見積もりに含める Azure サービスを選択します。ほとんどの時間をここに費やします。

• シナリオの例

ここでは、いくつかの "参照アーキテクチャ" または一般的なクラウドベースのソリューションが提供されており、それを基にして始めることができます。

• 保存されている見積もり

ここには、以前に保存した見積もりが表示されます。

- FAQ

ここでは、料金計算ツールに関してよく寄せられる質問に対する回答が見つかります。

ソリューションを見積もる

ここでは、必要な各 Azure サービスを計算ツールに追加します。次に、ニーズに合わせて各サービスを構成します。

ヒント

計算ツールが見積もりに何も表示されていないクリーンな状態であることを確認してください。各項目の横にあるごみ箱アイコンを選択することで、見積もりをリセットできます。

見積もりにサービスを追加する

1. [製品] タブで、次の各カテゴリからサービスを選択します。

カテゴリ	サービス
Compute	Virtual Machines
データベース	Azure SQL Database
ネットワーク	Application Gateway

2. ページの一番下までスクロールします。各サービスが既定の構成で一覧に表示されていることがわかります。

お客様の概算

[Virtual Machines](#) ⓘ 1 D2 v3 (2 vCPU、8 GB RAM) × 730 ...

Virtual Machines

リージョン:

オペレーティング システム:

種類:

米国西部

Windows

(OS のみ)

要件に合わせてサービスを構成する

1. [仮想マシン] で、次の値を設定します。

設定	値
リージョン	米国西部
オペレーティング システム	Windows
型	(OS のみ)
サービス レベル	Standard
インスタンス	D2 v3
仮想マシン	2 x 730 時間

残りの設定は現在の値のままにしておきます。

2. [Azure SQL Database] で、次の値を設定します。

設定	値
リージョン	米国西部
型	Single Database
バックアップ ストレージ層	RA-GRS
購入モデル	仮想コア
サービス階層	汎用
コンピューティング レベル	プロビジョニング済み
Generation	Gen 5
インスタンス	8 仮想コア

残りの設定は現在の値のままにしておきます。

3. [Application Gateway] で、次の値を設定します。

設定	値
----	---





設定	値
リージョン	米国西部
サービス レベル	Web アプリケーション ファイアウォール
サイズ	Medium
ゲートウェイ時間	2 x 730 時間
データ処理量	1 TB (テラバイト)
送信データの転送	5 GB

残りの設定は現在の値のままにしておきます。

見積もりを確認、共有、保存する

ページの下部には、ソリューションの実行の合計見積もりコストが表示されます。必要に応じて、通貨の種類を変更できます。

推定の月間コスト

 エクスポート	 保存
 名前を付けて保存	 共有

\$0.00

\$1,902.64

米ドル (\$)



この時点で、いくつかのオプションがあります。

- Excel ドキュメントとして見積もりを保存するには、**[エクスポート]** を選択します。
- 後のために **[保存されている見積もり]** タブに見積もりを保存するには、**[保存]** または **[名前を付けて保存]** を選択します。
- 見積もりをチームと共有できるように URL を生成するには、**[共有]** を選択します。

これで、チームと共有できるコストの見積もりができました。要件に対する変更が見つかったら、調整を行うことができます。

ここで使用したいいくつかのオプションを調べてみたり、Azure で実行するワークロードの購入プランを作成してください。